

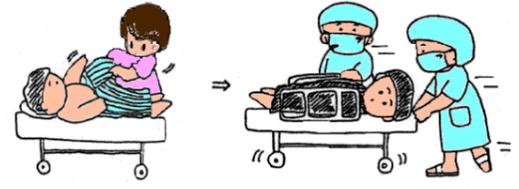
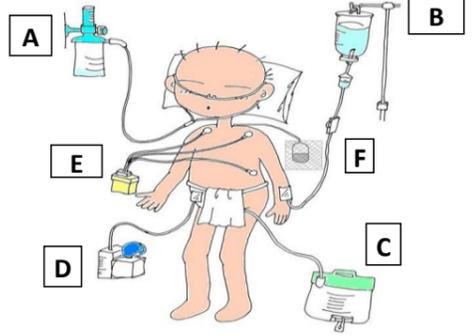
入院診療計画書（根治的前立腺全摘除術を受けられる方へ）(1)

日付： _____

病棟： _____

ID： _____

様 病名(主要病状等)^{(注)1} 前立腺腫瘍

経過 ^{(注)2}	入院日	手術前日	手術当日	
			手術前	手術後
月日	/ /	/ /	/ /	
治療 薬剤 (点滴・内服) 処置	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬の確認をします 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科受診(午前中) 15時に下剤を内服します 手術の部位の毛を剃ります 	<ul style="list-style-type: none"> 前投薬の注射と術前内服がある場合があります 坐薬があります 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 必要時手術前の検査をします 内科疾患がある時、必要に応じ診察を受けて頂くことがあります 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 普通食又は治療食 食べ物のアレルギーのある方はお申し出下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 夕食まで普通食 	<ul style="list-style-type: none"> 術前2時間前まで飲水できます ただし牛乳は禁止です 	
安静度 リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 			<ul style="list-style-type: none"> ベッド上に寝たまま、頭を上げたり座ったりできません
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 入浴(月～金) 			
排泄				<ul style="list-style-type: none"> 手術中に尿の管が入ってきます
患者さん・ご家族の方へのご説明 その他	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活、検査についての説明があります(看護師) 現在の排尿状態の質問を行います 手術前の説明をします(医師・看護師) 承諾書と輸血同意書を書いて頂きます 医療安全の為ネームバンドをつけます <p>手術は 月 日 時 分頃より始められます 時間は120分くらいの予定です 麻酔は全身麻酔で眠った状態で行われます 家族の方は、この時間より1時間前には病院に来て下さい</p> <p>【必要物品】 T字帯...3枚 腹帯...3枚 パスタオル2～3枚 ティッシュ...1箱 長方形紙オムツ...5枚程度 (売店に有ります) ※T字帯と腹帯は手術後1週間程使用するので洗濯か追加購入して下さい</p> <p>※入院生活で注意する点について</p> <p>《手術前の体調管理について》</p> <ul style="list-style-type: none"> タバコは痰が多くなる原因となりますので、やめて下さい * 肺炎などの合併症を引き起こしやすくなります 風邪などひかぬよう、注意しましょう。(うがいや手洗いなどしましょう) <p>《手術前に実施できる、手術後合併症予防法について》</p> <ol style="list-style-type: none"> 深呼吸 麻酔から覚めるのを助けるためと、肺の運動を行い肺炎を予防するために行います 胸をいっぱいふくらませて静かに吐き出してください うがい、喀痰 難しいですが、寝たまま頭を少し横に向けて、ゆっくり吐き出します 口の中の雑菌を洗い流すためと、痰を出しやすくするためです 血栓防止の為、足首を動かしてください    		<ul style="list-style-type: none"> ご家族の方は、手術途中で医師より摘出した組織の説明がありますので部屋かデイルームで待機して下さい <p>1.手術室に行く前に</p> <ol style="list-style-type: none"> 入れ歯、時計、ヘアピン、めがね、コンタクトレンズ 指輪などは必ず外してください 前処置の時間になったら看護師がお知らせします 下着を脱ぎ、手術衣に着替えます 静脈血栓塞栓症の予防のため靴下を履きます 入室時間の少し前に病棟を出て手術室に入ります <p>※前投薬注射の指示がある場合は排尿を済ませて処置室に来て頂きます ストレッチャー(寝台車)の上に休んだ後、麻酔がよくかかるように筋肉注射をします</p>  	<p>3.手術が終わってから</p> <ol style="list-style-type: none"> 症状に応じて痛み止めを使用しますので、痛みがある時は遠慮なく看護師に知らせて下さい 痰は飲み込まずに出してください 咳をする時は、創を押さえるといくぶん楽です 静脈血栓塞栓症の予防のため、足を動かす機械が装着してあります <p>【手術後の状態】 下の図のように、手術後は色んなものがついて帰って来ます。</p> <p>A: 酸素を流しますので深呼吸をしましょう B: 点滴が翌日の朝まで持続します C: 手術中に尿の管が入ってきます D: 手術部位に管(ドレーン)が入ってきます E: 心電図モニターをつけて心臓の状態をみます F: 背中に痛み止めのチューブが入ってきます 体を動かしたいときは、遠慮なく看護師に知らせて下さい。また2時間毎に体の向きを変えます。</p> 

(注) 1 病名(主要症状等)などは、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わり得るものです

(注) 2 退院予定時期については、現時点で予想されるものです。何か御不明な点がございましたら担当主治医もしくは看護師にお尋ねください

特別な栄養管理の必要性: 有 無

(本人・家族): _____

(受け持ち看護師): _____

薬剤師:
栄養士: _____

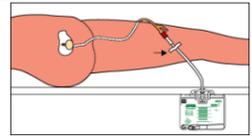
(主治医)

印

入院診療計画書（根治的前立腺全摘除術を受けられる方へ）（2）

日付： _____

病棟： _____ 様
ID： _____

経過 (注)2	手術後1日目	2~3日目	4~6日目	7日目	8日目	9日目	10~12日目	退院予定日 (注)2 (術後2週間程度)	
月日	/	/	/	/	/	/	/ ~ /	/	
治療 薬剤 (点滴・内服)	<ul style="list-style-type: none"> 点滴朝まで持続 食事開始後、痛み止めの内服開始(7日間) 手術部位に入った管は排液量の程度により抜去 			<ul style="list-style-type: none"> 必要な方は痛み止めの内服を継続する事があります 				【退院の目安】 自分で排尿ができ、傷の治りがよければ退院できます	
処置	<ul style="list-style-type: none"> ガーゼ交換 			<ul style="list-style-type: none"> 半抜糸 	<ul style="list-style-type: none"> 全抜糸 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態確認 			
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血 						<ul style="list-style-type: none"> 検査 10日目に尿流量率、残尿測定 12日目にPSA(採血) 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 朝から 全粥開始 		<ul style="list-style-type: none"> 腹部の状態が安定すれば、普通食へ変更します 					<ul style="list-style-type: none"> 退院日の朝までです 	
安静度 リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 看護師又は理学療法士と一緒に歩く練習をします 	<ul style="list-style-type: none"> 体の状態をみて歩く練習をします 午前午後1回ずつは必ず歩きましょう 							
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 毎日体を拭きます 		<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じてシャワーができます 			<ul style="list-style-type: none"> 創の状態によって抜糸後、入浴可(月~金) 		<ul style="list-style-type: none"> 看護師より退院時の説明があります 診察券をお返します 会計は医事課の者より説明があります 計算書を受け取られてから、2階6番へ行かれています お帰りになる際はネームバンドを外します 	
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 排便がない時、下剤や浣腸を使用します 	<ul style="list-style-type: none"> 5日目~状況に応じて膀胱訓練を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管が抜けます 尿の量と、尿の漏れを測ります 					
患者さん・ご家族の方へのご説明	<ul style="list-style-type: none"> 病理結果がわかり次第、ご連絡します 組織の結果説明、及び今後の治療法について説明します 						<ul style="list-style-type: none"> 必要時、排尿の状態により尿の漏れが改善する運動の方法を、ビデオとパンフレットで説明します 退院に向けて、説明指導を行っていきます 		
その他	<p>☼カテーテルの管理</p> <p>手術の後は尿道に管が入ります 管が入っている期間は手術後7日位です 管を曲げたり、引き抜いたりしないようにしましょう</p> <p>☼尿道の痛みについて</p> <p>尿道に管が入っている刺激で、ぎゅっとしめつけられるような痛みや、尿意を感じる事があります このような時は深呼吸をして、楽な姿勢をとって下さい 力むと尿が漏れたり、痛みが強くなったりします 状態により、痛み止めの坐剤や注射を使いますので、看護師にお知らせ下さい</p> <p>☼ドレーン管理</p> <p>創の近くに血液や浸出液を出す管が入ります 管が入っている間は、管を曲げたり引き抜いたりしないようにしましょう</p> <p>☼飲水について</p> <p>手術後は、尿道カテーテルを数日留置しておかなければなりません カテーテルの閉塞や感染予防のため、水分を普段より多くとって頂くように説明致しますが、手術後は思うように動けません。手術前に500ccのペットボトルを2~3本、または水筒などを準備しておかれると良いと思います。</p>							 	  
							<p>【退院後の生活について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲酒は手術後1か月程度控え、それ以降は飲んでもかまいません 手術後1か月は重いもの持ったり、激しい運動をしたりすることは避けて生活して下さい 失禁(尿もれ)は個人差がありますが、約3ヶ月程度すると良くなる方が多いようです 食事、飲水量については、特に制限はありませんが、心臓病や糖尿病など制限が必要な疾患については、かかり付けの病院の指示に従ってください 仕事の開始時期については個人差もありますので、医師または看護師にご相談下さい 	 	
							<p>退院にあたってお薬を希望される方は、退院前々日までにお申し出下さい 入院費用の概算を希望される方は、前日の16時までにお申し出下さい 次回受診が必要な方は、次回受診日を確認されてください</p>		

(注) 1 病名(主要症状等)などは、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わり得るものです
(注) 2 退院予定時期については、現時点で予想されるものです。何か御不明な点がありましたら担当主治医もしくは看護師にお尋ねください